

平成24年6月

伊東市議会6月定例会

一般質問要旨

伊東市議会

一 般 質 問 順 序

- 1 井 戸 清 司 君
- 2 鳥 居 康 子 君
- 3 四 宮 和 彦 君
- 4 浜 田 修 一 郎 君
- 5 杉 本 一 彦 君
- 6 佐々木 清 君
- 7 長 沢 正 君
- 8 浅 田 良 弘 君
- 9 森 篤 君
- 10 掬 川 武 義 君
- 11 重 岡 秀 子 君

一 般 質 問 要 旨

議 員 井 戸 清 司

- 1 エネルギー政策が大きな転換期を迎えている中、「生活者」と「地域」を重視した中長期的な政策を本市も打ち出す必要があると考えるが、市長の考えを伺う。
 - (1) 地域の特性を生かした「未利用のエネルギー資源」を活用して新産業や雇用を創出することにより、「地域活性化」につながると考えるが、いかがか。
 - (2) 松川湖（奥野ダム）の小水力発電の進捗状況を伺う。
 - (3) エネルギーの需要と供給のバランスを図る上でも、省エネルギー対策が重要と考えるが、市有施設の照明をLED化する対策など、現状と今後の取り組みについて伺う。
- 2 姉妹都市交流の活性化を推進することで交流人口や観光客の増加につながると考えるが、姉妹都市交流に係る具体的な施策について伺う。
- 3 本市における水源保護政策について伺う。
 - (1) 北海道などでは外国人投資家により水源地における森林が買収されているが、本市の状況について伺う。
 - (2) 本市全域の水源を対象とする伊東市水道水源保護条例に改正すべきであると考えているが、本市の考えを伺う。
- 4 現在、少子化が進む中において、保育園、幼稚園、小・中学校の統廃合を含めた再編計画が必要であると考えているが、今後の方向性について伺う。
 - (1) 地域の人口動態や地域別の出生率にかんがみるに、教育施設の適正配置を図る必要があると考えるが、いかがか。
 - (2) 防災面（地震・津波対策）からかんがみても海岸付近の教育施設については、統廃合も視野に入れて検討すべきであると考えているが、いかがか。

一 般 質 問 要 旨

議 員 鳥 居 康 子

- 1 防災情報の伝達手段に関し、以下3点について伺う。
 - (1) 本市の同報無線の整備状況と今後の整備の見通しについて伺う。
 - (2) 同報無線の内容を確認する手段の一つとして、電話での確認が可能な自動応答サービスの導入は考えられないか。
 - (3) これまで戸別受信機の整備や希望者への防災ラジオの配布などが行われてきたが、それらに対する評価及び今後の考え方について伺う。

- 2 市民生活の利便性を図る観点から、コンビニで住民票等を取得できるサービスを始め
ている自治体もあるが、本市においても導入する考えはないか伺う。
また、電子納付システムがクレジットカード等の決済で税金や公共料金、各種料金な
どの支払いに利用できるサービスの実施が広がっているが、導入に関し本市の考えを伺
う。

- 3 今後のごみ処理計画及び考え方に関し、以下2点について伺う。
 - (1) 本市ごみ処理基本計画において、ペットボトル及び容器包装プラスチックの分別収
集を平成27年度から開始するとしているが、実施までの3年余の期間に係るスケジ
ュールについて伺う。
 - (2) 小型家電製品（家電リサイクル品を除く。）は金属の日の収集となっており、破碎や
焼却などを経て埋め立てられている現状から、さらなるリサイクルを進めるため、適
正かつ有効な処理が必要であると考えますが、いかがか。

一 般 質 問 要 旨

議 員 四 宮 和 彦

「国家百年の大計」ともいう。地方自治体においても「百年の大計」があってしかるべきと考えるが、市長の本市のまちづくりについての将来ビジョン及び信念について、以下4点伺う。

1 港湾整備計画について

伊東沖は、大型艦船の停泊に適しており、大型船が接岸可能な港湾整備を行うことにより、伊東港及びその周辺海岸部は災害支援受け入れ拠点港となり得る潜在力がある。隣接する市町や、国・県の協力も得て、港湾整備計画を立案し、これを実現すべき時が来ていると考えるが、市長の考えを伺う。

2 道路整備計画について

災害時における本市の陸上交通路の脆弱性は昔も今も変わらない。大部分が海岸線に沿う国道135号が被災した場合、これを代替する緊急輸送路が必要になると思われるが、災害時における交通処理能力の低下を考慮した道路網の信頼性確保のための施策について伺う。また、災害時緊急輸送路としての機能も期待される「中部横断道路」完成の実現性について伺う。

3 静岡県「内陸フロンティア推進事業」と本市の位置づけについて

新東名開通を契機として、静岡県では、「内陸フロンティア推進事業」を計画している。山間地域を想定した開発事業計画であるが、土地利用制限の緩和特区の申請等、沿岸地域に位置する本市においても参考になる事業趣旨であると考ええる。「内陸フロンティア推進事業」について、沿岸部自治体の本市としてこれをどう評価し、どのような事業が必要であると考えるか伺う。

4 電力、エネルギー確保について

本市においては、昨年の東日本大震災に伴う計画停電を経験した。東京電力管内においては今夏の電力不足は回避できるとの見通しであるようだが、原発がすべて停止する中、自然・代替エネルギーによる発電システムの実用化を待たねば、安価で安定的な電力供給がなされる保障は今後もない。こうした中、オール電化設備で建設が進む新市民病院ほか公共施設を中心として、本市としてのエネルギー確保に係る対策を伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 浜 田 修 一 郎

1 伊東市公共経営改革大綱（平成24年度～平成27年度）では、市民・地域との協働による「新しい公共」の推進がうたわれているが、その具体策について伺う。

2 本市が目指している市民・青少年のスポーツ振興のため、また、市民の憩いの場として「伊東市総合運動公園」を新設すべきと考えるが、いかがか。

3 本市沿岸部における津波対策のため、避難路や避難地の確保が必要と考えるが、いかがか。

一 般 質 問 要 旨

議 員 杉 本 一 彦

1 本市の生活保護に係る施策について

- (1) 本市の被保護人員の推移や県内他市との保護率等の比較を踏まえ、本市の生活保護の現状について伺う。
- (2) 高齢者、傷病者、障がい者、母子以外の就労可能な受給者について、受給者全体から見た割合と、就労指導及び不正受給防止対策について伺う。
- (3) 生活保護行政の検証・改善を進めるため大阪府で設置した「生活保護行政特別調査プロジェクトチーム」のような機関を設置する考えはないか伺う。

2 本市の放射能汚染の状況について

- (1) 本市における、特にお茶やシイタケの生産に関し、放射能汚染の影響を受けたとして、これまで一部において出荷制限や出荷自粛を余儀なくされてきたと伺っているが、それらにかかわる業者の現況と補償状況について伺う。
- (2) 本市の保育園及び学校の給食に関する放射能対策について伺う。

3 浜岡原子力発電所について

浜岡原発に係る諸問題については、本市の未来創造の観点から、看過できない非常に大きな課題と考えるが、市長の見解を伺う。

4 伊東市民病院建設について

市民病院建設に係る進捗状況と本市の工事立会検査等の頻度について伺う。また、現場労働者に係る安全対策について伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 佐々木 清

長引く景気の低迷や高齢化が進む中、本市の将来について、暮らしやすいまちづくりを目指すための取り組みとして、以下の5点について伺う。

- 1 市民生活の安心・安全を確保するため、安定した地域医療の提供を目指し、新市民病院の病床数をふやす考えはないか伺う。
- 2 雇用の確保と充実を目指し、市民病院の「跡地活用検討会」を設置する考えはないか伺う。
- 3 観光地伊東における宿泊産業支援の観点から、社会体育施設の予約方法の見直しについて伺う。
- 4 市民生活に係る支援策として、買い物難民に対する救済策について伺う。
- 5 本市の歴史を広め文化を高めるため、中央図書館の移転を含めた生涯学習に係る施策の抜本的な見直しについて伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 長 沢 正

1 建設産業の再生と発展のための観点から、「地域維持型契約方式」の導入についての見解を伺う。

2 防災・減災の観点から、今後の社会インフラ整備についての考えを伺う。

3 防災に関する取り組みについて

(1) 火山噴火に関するハザードマップの作成予定はあるか。

(2) 本市内の飲料水として使用可能な水源、井戸等の掌握はされているか。

(3) 小・中学校での防災教育は、どのように行われているか。

一 般 質 問 要 旨

議 員 浅 田 良 弘

- 1 高齢者の「予防を重視した健康づくり」の観点から、成人用肺炎球菌ワクチン接種への公費助成に対する本市の考えについて、以下の2点を伺う。
 - (1) 他市町村の取り組みやワクチン接種に関する市民の声をどのように把握しているか。
 - (2) 公費助成とする場合の費用負担及び導入に至るまでの課題について

- 2 北海道等においては外資による森林買収の動向が懸念されていることから、水源地域保全に対する取り組みが拡大している現状があるが、伊東市水道ビジョンの10カ年計画にも示されている伊東市水道水源保護条例における水資源保全は十分なのか伺う。

- 3 市営住宅の集会場のトイレについて、現在和式であるため高齢者等が利用する際、支障が生じているとして、洋式への改修を要望する声があるが、対応策について伺う。

- 4 観光資源の一つとして、ヤマツツジが楽しめ、市内を一望できる通称「馬場の平」を新たな観光スポットに加える考えはないか伺う。

- 5 昨今の交通事故の多発状況にかんがみ、本市の交通安全対策について、以下2点を伺う。
 - (1) 道路構造の改良による安全対策として、ハンプ、狭窄、シケイン（屈曲）などの設置に対する考えについて
 - (2) 小・中学校通学路の危険箇所の把握と児童・生徒への交通安全指導の取り組み等について

- 6 新学習指導要領において必修化されたダンスの指導に関し、本市5中学校の取り組みについて伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 森 篤

- 1 新しい公共の意識を一層醸成する視点から、次の事項の検討状況を質す。
 - (1) 伊東市自治体経営基本条例（仮称）の制定について
（伊東市経営の基本的なあり方、手法等を条例によって明文化する。）
 - (2) パブリックコメントの制度化について
（伊東市経営にとって大事な事項は、市民の論議を経て決定することを制度化する。）
 - (3) 予算編成プロセスの透明化について
（予算編成のプロセスを市民からの要望事項も含めて公開する。）
 - (4) 施策、事業提言の制度化について
（施策、事業に係る市民、団体等からの諸提言を募り審査することを制度化する。）

- 2 地域安全保障を一層充実する視点から、消防救急広域化に関して、「駿東伊豆地区消防救急広域化協議会」の協議状況を質す。

- 3 文化力の一層の向上を目指す視点から、「伊東市文化財審議委員会」が文化財の保護及び活用に関し、教育委員会に建議できる旨の規定を明文化することについて、教育委員会の考えを質す。

一 般 質 問 要 旨

議 員 掬 川 武 義

- 1 長引く景気低迷により空き店舗がさらに増加している。市内の経済対策は何が必要か伺う。

- 2 交通死亡事故が続く中、通学路の点検を初め、道路白線、黄線など区画線の消えているところが多く見られるため、これらを速やかに改善するなど、早急に交通安全対策に力を入れるべきであると思うが、市長の考えを伺う。

- 3 現在の図書館のあり方と、将来に向けた新図書館建設について伺う。

- 4 議員報酬の引き下げについて市長の考えを伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 重 岡 秀 子

- 1 9月に日本ジオパークとしての認定が期待されている伊豆半島ジオパークについて、本市としてどのように地域振興へつなげていくのか伺う。
 - (1) 地域振興のための推進組織をつくり、アクセス、商品企画、商業振興などの具体策を講じていく必要があると考えるが、いかがか。
 - (2) タクシー、バス、宿泊施設などで働く方たちに対する現地研修が重要であると考え
るが、いかがか。
 - (3) ジオパークの拠点施設の計画について伺う。
- 2 観光客をいやす美しいまちづくりのため、市民の協力も得ながら、道路沿いの花をさ
らにふやすなどの施策が必要と考えるが、いかがか。
- 3 本市の幹線道路整備について伺う。
 - (1) 伊豆スカイラインについて、観光だけでなく、国道135号や県道池東松原線の渋
滞緩和策としての観点からも、再度、料金割引の実施を要望すべきであると考え
るが、いかがか。
 - (2) 交通量のふえている県道池東松原線について、危険箇所を調査し、さまざまな安全
対策を講じるべきであると考え、いかがか。
- 4 住宅リフォーム助成について、中古住宅を購入して移住してくる方も利用できるよう、
助成対象に係る条件を緩和すべきであると考え、いかがか。
- 5 生活保護の実態と就労支援の状況及び課題について伺う。